



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

形成外科の最近の二ース

徳島県立中央病院 形成外科 瀬渡洋道

当科における手術分類は、腫瘍（良性 85%、悪性 15%）が 59%、続いて外傷が 24%、難治性潰瘍が 8%と続いております。その多くは連携医の先生方からの紹介によるものであります。

とりわけ悪性腫瘍については、早期発見が大切です。その際、「ちょっと見た目が怪しい」と疑える目を持つことが重要です。

ここから当科で対応している悪性腫瘍の中でも比較的多いものについてご紹介いたします。

1) 基底細胞癌

#発生部位は顔面が70%以上

#色調は一般的に黒色～灰黒色だが、まれに紅色

#日本人で最も多い皮膚癌で毎年10万人あたり5人以上と推定される

#臨床像：結節潰瘍型、表在型、斑状強皮症型、破壊型、Pinkus型

#リンパ節転移や遠隔転移は極めて稀だが、破壊型の深部浸潤例や再発を繰り返すものがある



辺縁が黒く、中心で潰瘍化がある隆起性病変



平坦で薄紅色、所々に黒色隆起性病変



一見、ホクロっぽいのがより黒い

2) 有棘細胞癌

#40才以上の顔面、頭部に好発する

#臨床症状は様々

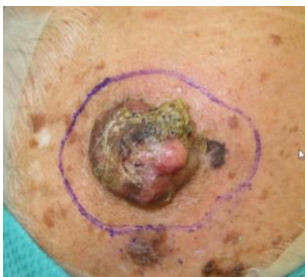
#種々の発生母地あるいは先行病変から生じる事が多い

第1群：局所的な準備状態（熱傷瘢痕、放射線炎、下腿潰瘍など）

第2群：SCC in situ ないしは早期病変（ボーエン病、日光角化症など）

第3群：SCCを生じやすい身体的状態（色素性乾皮症、AIDSなど）

#難治性皮膚潰瘍では皮膚悪性腫瘍の可能性を常に疑うべきとされる



痂皮が付着し滲出液や出血などで汚れた印象



痂皮を除去すると、びらん、潰瘍などが見られる

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『Q&A から紐解く、エビデンスに基づいた感染対策』

講師：福井県済生会病院 感染管理認定看護師 細田 清美 氏

日時：令和元年8月14日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『患者全体像をどう伝えるか？～ADL評価を学ぶ』

講師：杏林大学保健福祉学部理学療法科 准教授 木村 政昭 氏

日時：令和元年8月28日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『呼吸困難への対応（成人・小児）』

担当：救急看護認定看護師 松本康代・長井貴司 / 小児救急看護認定看護師 諏訪 知穂

日時：令和元年7月12日（金） 17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

② 『IAD（失禁関連皮膚炎）の予防と対応について』

担当：皮膚排泄ケア認定看護師 大野 美寿々

日時：令和元年8月6日（火） 17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

③ 『①摂食嚥下と口腔ケア ②人工呼吸管理に伴う合併症（VAP）について』

担当：集中ケア認定看護師 谷藤久美・殿谷淳子

日時：令和元年8月9日（金） 17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。

院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

令和元年5月は、地域医療支援病院

紹介率 96.3% 逆紹介率 191.5%でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。